

明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画(R2.3策定)

国土交通省
東北運輸局

人口:304,382人(R2時点) 面積:49.42km²

基本情報

<趣旨>

- ・バリアフリーマスタープランとバリアフリー基本構想が一体となった計画。(基本構想は策定次第掲載。)
- ・H29.12に共生社会ホストタウンに登録されたことをきっかけに、これまで障害者施策を中心に進めてきた「心のバリアフリー」に係る施策に加えて、「ユニバーサルデザインのまちづくり」に係る施策を全市域において加速させる指針とする。
- ・SDGsの理念に基づき、「SDGs未来安心都市・明石」を掲げる本市は「誰ひとり取り残すことなく助け合うまちづくり」という考えのもと、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支えあい、誰もが生き生きとした人生を享受することができる**共生社会の実現を目指している**。

<方針>

- 基本理念 **『誰もが『出かけることができる』『出かけたい』まちを目指し、ユニバーサルデザインの考えに沿って全市域のまちづくりを進め、誰ひとり取り残されることのない共生社会を実現します。』**
- 基本目標
 - ・利用者視点に立ったユーザビリティの向上
 - ・当事者、市民参画による計画・取組の推進
 - ・「ハード」と「ソフト（ハート）」の両輪
 - ・ユニバーサルツーリズムの推進
 - ・災害時、緊急時に対応したユニバーサルデザインのまちづくり
 - ・地域との連携
 - ・計画の継続改善と見直し

作成するにあたって

<作成のきっかけ>

- ・H29.12に共生社会ホストタウンに登録されたこと。(R1.8に先導的共生社会ホストタウンに登録された。)

<作成過程>

- ・明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会（H30.2実施）から検討され、R2.3に策定。
会議体は、明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会（8回開催）
- ・作成方法が分からなかったため、**国のガイドラインを参考資料として活用した。**
- ・障害者団体、子育て世代、市民（18歳以上から無作為抽出）に対して**アンケート調査**を実施。
- ・パブリックコメント 意見数17件
- <当事者の意見を反映させるために工夫した点>**
 - ・協議会において、限られた時間の中、高齢者、障害者等の**当事者からの意見を聴くことを優先した。**
- <作成にあたり苦慮した点>**
 - ・庁内他部署や国県等関係機関、障害当事者等の**意見の集約・調整に係る作業量が多く、大きな負担となった。**
 - ・生活関連施設の選定及び具体的取組の検討に当たり、公的機関へ説明する機会を作ったが、**マスタープランの意義について理解が得られず、説明・調整に苦慮した。**

移動等円滑化促進地区

○JR朝霧駅周辺地区等12地区

- ・選定理由
 - ①多くの当事者・市民が利用し、バリアフリー化を進めることが有効な地区の設定
 - ②地域発案による地区の設定（明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会との連携）
 - ③まちや社会の変化に応じた見直し

策定後の動き

- ・協議会への参画を契機に、**国・県・交通事業者との情報共有が円滑**となった。
- ・バリアフリーマスタープランにおいて設定した「**移動等促進円滑化地区**」ごとにバリアフリー基本構想を策定予定。
- ・併せて新たな「**移動等促進円滑化地区**」を設定するために適宜マスタープランを改訂予定。

<これから作成する市町村へのアドバイス>

- ・策定後に着実な施策展開を図るためにも、**策定過程において庁内の関係部署がかかわりながら進める仕組みが必要。**